

対ソロモン諸島国 事業展開計画

2014年 4月 現在

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 基本方針 (大目標) | 社会・経済基盤の強化を通じた持続的経済成長の達成と国民の生活水準の向上 |
|---------------|-------------------------------------|

| 重点分野1 (中目標) | 脆弱性の克服 | | 【開発課題への対応方針】 他の主要ドナーと連携しながら首都及び主要地方都市部等における基幹経済・社会インフラ整備及び維持管理のための人材育成を行う。 | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------|------------|------------|------------|------------|--|-------------|-------|---------------------|-----------------------|
| | 協カプログラム概要 | プロジェクト名 | スキーム | 実施期間 | | | | | | 支援額 (億円) | 備考 | | |
| 2013 年度 以前 | | | | 2014 年度 | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | | | | | |
| 開発課題1-1 (小目標) 社会・経済インフラ整備・維持 | 基幹経済・社会インフラの整備及び維持管理のための人材育成を支援する。 経済インフラ整備・維持管理プログラム | ホニアラ港施設改善計画 | 無償 | ----- | | | | | | | 27.33 | | |
| | | クム幹線道路向上計画準備調査 | 協準 | — | | | | | | | | | |
| | | ホニアラ市及びアウキ市給水設備改善計画 | 無償 | — | | | | | | | | 20.90 | |
| | | 水道公社無収水対策プロジェクト | 技協 | — | | | | | | | | 2.71 | |
| | | 社会・環境セーフガード | 技協 | — | | | | | | | | | |
| | | ホニアラ交通マスタープラン支援プロジェクト | 開発計画 | | ----- | | | | | | | | |
| | | 援助調整アドバイザー | 個別専門家 | — | | | | | | | | | |
| | | 運輸交通・ガバナンス・上水道関連研修 | 課題別研修他 | | | | | | | | | | |
| | | ソロモン諸島における家庭用太陽光発電システムを用いた地方電化計画 | マルチ | | | | | | | | | 4.00 million (US\$) | PEC基金 |
| | | トランスポートセクター開発支援計画 | マルチ | | | | | | | | | | アジア開発銀行貧困削減日本基金(JFPR) |
| | | トランスポートセクターにおけるセーフガード強化計画 | マルチ | | | | | | | | | | アジア開発銀行貧困削減日本基金(JFPR) |
| | その他個別案件 | 沖縄県中小企業が有する島嶼地域向け系統連系型太陽光発電システム導入技術の普及・実証事業 | 中小企業支援 | | | | | | | | | 1.00 | 民間提案型普及・実証事業 |

| 開発課題1-2 (小目標) | 【現状と課題】 ソロモンにとって、水産資源、木材輸出等に頼る単一経済構造から脱却し、これに替わって経済を牽引する主要産業の育成と活性化は持続的資源利用の観点から急務である。また、都市部への人口集中を緩和し、かつ地域格差を是正するため、小規模産業開発等、経済構造の多角化が喫緊の課題である。 | | | 【開発課題への対応方針】 職業訓練、農業技術指導等を通じて現金収入を得る手段の確保や、地方産業活性化・農業振興等の総合的開発を支援する。 | | | | | | | | | | |
|---|---|--|----------------------------|---|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|------|-------------|-------------|
| | 協力プログラム名 | 協力プログラム概要 | プロジェクト名 | スキーム | 実施期間 | | | | | | 支援額 (億円) | 備考 | | |
| | | | | | 2013 年度 以前 | 2014 年度 | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | | | | |
| 経済活動の拡大 | 産業振興プログラム | 地方産業・農業振興等の総合的開発を支援する。 | 鉱山開発マスタープラン策定計画 | 開発計画 | | --- | ---- | | | | | | | |
| | | | 経営管理、地域産業振興、職業訓練関連ボランティア派遣 | JOCV/SV | | | | | | | | | | |
| | | | 農業振興・コミュニティ開発・民間セクター開発関連研修 | 課題別研修他 | | | | | | | | | | |
| | | | 国際漁業振興協力事業 | 農林水産省技協 | | | | | | | | | 専門家派遣、資機材供与 | |
| 開発課題1-3 (小目標) | 保健医療サービス向上 | 保健医療・衛生施設の改善、感染症／非感染性疾患に係る保健医療従事者の育成、公衆衛生啓蒙活動等、地域医療サービスの質の向上を目的に支援を行う。 | マラリア対策システム強化プロジェクト(フェーズ2) | 技プロ | — | | | | | | | 2.48 | | |
| | | | 大洋州地域予防接種体制整備プロジェクト | 技プロ | — | | | | | | | | | 広域技プロ(13カ国) |
| | | | 保健・水衛生分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力 | 草の根無償 | | | | | | | | | 0.27 | |
| | | | 保健医療関連ボランティア派遣 | JOCV/SV | | | | | | | | | | |
| | | | 保健医療関連研修 | 課題別研修他 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 【現状と課題】 ソロモンにおける保健分野開発指標は改善傾向にあるものの、引き続きマラリア等感染症罹患率、5歳未満児死亡率、妊産婦死亡率低下のための取組が必要である。また、慢性的財政不足から、需要に対して保健医療インフラ整備が追いついていない状態である。医療従事者の能力開発も十分でなく、特に地方部においては保健医療サービスが整っていないなど、課題は多い。同国保健省は2011年4月、保健戦略5カ年計画を策定しており、現状打開に向けた取組が急務となっている。 | | | | 【開発課題への対応方針】 保健医療分野では、国際保健政策2011-2015も踏まえ、援助協調枠組みに参加し当国の保健政策に沿った支援を行う。技術協力プロジェクト、ボランティア派遣、課題別研修等を組み合わせ、地域医療サービスの向上や住民への公衆衛生に関する啓蒙活動等を支援し、住民参加型の疾病管理体制強化を目指す。また、豪州・世界保健機関グローバルファンドと連携しながら、ソロモンのマラリア行動計画(2008-2014)実施能力の向上、地域マラリア予防活動実施体制強化、地域マラリア診療サービス機能強化等を通して、効果的なマラリア疾病管理体制の構築を支援する。さらに、無償資金協力、草の根無償等による保健医療・衛生施設整備への支援を検討する。 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---------------------------------|--|----------|--------|--------|--------|--------|-----------|------------------|------------------------------------|
| 開発課題1-4 (小目標) 教育機能強化 | 【現状と課題】 教育分野において、ソロモン政府は基礎教育の拡充を教育分野の重要課題の一つとしているが、児童就学率は改善傾向にあるものの中退率は依然高い状態が続いている。基礎教育を終了する児童数の拡大を図るためには、提供する教育サービスの質の向上が不可欠であるが、慢性的財政不足から、教育インフラ整備は遅れており、また教育従事者に対する能力開発が十分に行われていないことから、教員の基礎的教科に対する理解不足、指導力不足、モラル欠如等、課題は多く、改善が急がれている。 | | | 【開発課題への対応方針】 教育分野では、援助協調枠組みに参加し、新教育協力政策2011-2015を念頭に、国家教育アクションプラン(2013-15)に沿った支援を行う。ボランティア派遣、課題別研修等を活用し、基礎教育分野における教育の質の向上に対する支援及び草の根無償による教育施設改善に対する支援を行う。 | | | | | | | | |
| | 協力プログラム名 | 協力プログラム概要 | プロジェクト名 | スキーム | 実施期間 | | | | | | 支援額 (億円) | 備考 |
| | 教育支援改善プログラム | 基礎教育分野に重点を置き、学校現場における教育の質の向上と教育施設改善に対する支援を行う。 | 教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力 | 草の根無償 | 2013年度以前 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 0.27 | |
| | | | 基礎教育分野の教育の質向上関連ボランティア派遣 | JOCV/SV | | | | | | | | |
| 教育関連研修 | | | 課題別研修他 | | | | | | | | | |
| 重点分野2 (中目標) | 環境・気候変動 | | | | | | | | | | | |
| 開発課題2-1 (小目標) 気候変動対策 | 【現状と課題】 ソロモンは南太平洋に位置する主要6島及び約1000島の小島から構成される島嶼国であり、噴火や火山性地震、津波、高潮、サイクロン、洪水等自然災害のリスクに常にさらされている。また、近年の傾向として集中豪雨の増加が顕著であり、これに対する対策が喫緊の課題である。 国家災害管理局は国連国際防災戦略に基づき、2005年1月、国連防災世界会議で合意された「兵庫行動枠組」の地域目標達成を目指しており、国家災害管理計画(National Disaster Risk Management Plan/NDRMP:2009年)、及びNDRMPの具体的な行動計画であるCorporate Plan 2010-2015を策定した。本計画では、重点課題として、災害リスク軽減を可能とする組織体制の強化、地域住民が主体となって取り組む災害管理能力の向上、意識啓発活動等が挙げられている。 | | | 【開発課題への対応方針】 気候変動による自然災害の影響を最小限に留めるため、災害管理能力の向上に資する機材整備、人材育成等の支援を行う。無償資金協力ではラジオ放送網の整備によって、災害情報が迅速かつ効果的に伝達されるシステムの整備・向上を支援する。また、広域技術協力プロジェクトでは住民参加型の災害管理能力向上を支援する。なお、他ドナー(豪州・UNDP等)との重複を避け、協調・連携して支援を行う。 | | | | | | | | |
| | 協力プログラム名 | 協力プログラム概要 | プロジェクト名 | スキーム | 実施期間 | | | | | | 支援額 (億円) | 備考 |
| | 防災プログラム | <ul style="list-style-type: none"> ・防災啓発及び早期警報体制の強化に必要な情報伝達網としてのラジオネットワーク整備を支援する。 ・国家災害管理局の災害時調整機能を向上させる。 ・住民参加型の災害管理能力向上を支援する。 | 防災ラジオ放送網改善計画 | 無償 | | | | | | | 5.04 | |
| | | | 大洋州地域コミュニティ防災能力強化プロジェクト | 技プロ | | | | | | | 3.38 | 広域(ソロモン拠点、ソロモン、フィジー) |
| | | | タンボコ村災害対応能力強化計画 | 草の根無償 | | | | | | | 0.09 | |
| | | | 防災関連ボランティア派遣 | JOCV/SV | | | | | | | | |
| | | | 防災・気候変動関連研修 | 課題別研修他 | | | | | | | | |
| | | | 大洋州地域気象分野第三国研修 | 第三国研修 | | | | | | | | 広域(ソロモン、フィジー) |
| | | | 太平洋地域コミュニティ防災管理強化計画 | マルチ | | | | | | | | 世銀日本開発政策・人材育成基金(PHRD) 広域、フィジー、ソロモン |
| | | | ソロモン諸島における気候変動及び自然災害に対する弾力性向上計画 | マルチ | | | | | | | | 世銀日本開発政策・人材育成基金(PHRD) |
| 太平洋自然災害リスク保険(Pacific Catastrophe Risk Insurance Pilot) | | | マルチ | | | | | | | | 世銀・ADBと共同出資 | |
| その他個別案件 | | 森林減少・劣化からの温室効果ガス排出削減のための地域気候変動エコシステムとエネルギー計画 | マルチ | | | | | | | 3.52百万USD | 日・UNDPパートナーシップ基金 | |

| | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|---|---|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------------|
| 開発課題2-2 (小目標) 環境保全 島嶼における循環型 社会形成支援プログラム | 【現状と課題】 ソロモンでは生活様式の変化と都市部への急速かつ過度の人口流入の結果、首都や地方都市における廃棄物の増加、不適切な処理による保健衛生面への悪影響等、廃棄物管理に関する問題が年々深刻化している。同国政府は2009年に国家固形廃棄物管理戦略・行動計画(National Solid Waste Management Strategy and Action Plan, 2009-2014)、国家ヘルスケア廃棄物管理方針(National Health Care Waste Management Policy)を策定したが、財政不足、人材不足、技術力不足等により具体的な対策は進んでいない状況にある。また住民の環境問題に対する意識は低く、環境教育や啓蒙活動が必要となっている。 | | | 【開発課題への対応方針】 サモア等で実施したJICAの広域技術協力プロジェクトのノウハウを参考にして、当国の現状に則した廃棄物管理能力向上を目的に、技術協力支援を行う。また、廃棄物量を減少させるため、環境教育を推進し、Reduce、Reuse、Recycle(3R)活動の普及を図る。さらに、技術協力プロジェクト、ボランティア派遣、課題別研修等を活用し効果的に支援する。 | | | | | | | | |
| | 協力プログラム名 | 協力プログラム概要 | プロジェクト名 | スキーム | 実施期間 | | | | | | 支援額 (億円) | 備考 |
| | | | | | 2013 年度 以前 | 2014 年度 | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | | |
| | | ・ゴミ収集・処分場整備等の廃棄物管理改善、また関連する法整備等の能力強化を支援する。 ・ゴミ減量化への取組として啓蒙・意識向上を支援する。 | 太平洋地域廃棄物管理改善支援プロジェクト | 技プロ | | | | | | | | 広域技プロ(サモア拠点、11カ国) |
| | | | New3Rの理念を踏まえた官民協同による家庭ゴミの分別収集システム構築プロジェクト | 草の根技協 | | | | | | | 0.50 | |
| | | | ホニアラ環境美化強化計画 | 草の根無償 | | | | | | | 0.05 | |
| | | 環境教育、森林保全関連ボランティア派遣 | JOCV/SV | | | | | | | | | |
| | | 環境・廃棄物管理関連研修 | 課題別研修他 | | | | | | | | | |

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別機材」(=個別機材)、「国別研修」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術) (=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブスキームを除く全ての無償資金協力)、「ノンプロ」(=ノン・プロジェクト無償及び中小企業ノン・プロジェクト無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償)、「一般文化」(=一般文化無償)、「草の根文化」(=草の根文化無償)、「有償」(=円借款)、「マル子」(=国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「中小企業支援」(=中小企業製品・技術とODAのマッチング事業「ニーズ調査」)、「案件化調査」および「普及・実証事業」、かつ中小企業連携促進基礎調査)、「実線」(=実施期間)、「破線」(=実施予定期間)